

各種殺虫剤のモモアカアブラムシに対する効力比較

安田壯平・坂口莊一
(長崎県総合農林センター愛野馬鈴薯センター)

YASUDA, S. and SAKAGUCHI, S.

Effect of Insecticides for the Control of Aphid *Myzus Persicae* SULZER

アブラムシの種類によって同一殺虫剤の殺虫性が異なるのではないかという考えのもとに、今回、まずバレイショ葉巻病ウイルスの主要媒介昆虫であるモモアカアブラムシを対象として、各種乳剤・水和剤の速効・残効力を比較検討した。

1. 試験方法

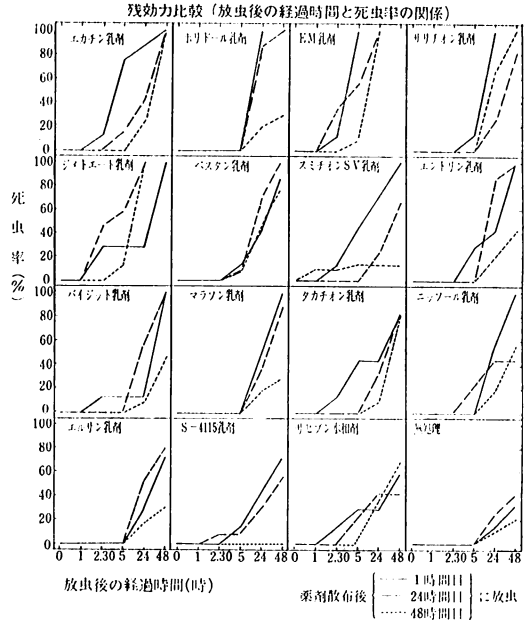
速効力の検討：バレイショ吸汁中のアブラムシにひしやく型噴霧機で直接薬剤を散布し、経時的に死虫率を調べた。

残効力の検討：あらかじめポットに栽植したバレイショに薬剤を散布し、その後1時間目・24時間目・48時間目に放虫した。速効・残効試験共にモモアカアブラムシ無翅胎生幼虫・成虫を供試した。

2. 試験結果

速効力においてはエカチン、ホリドール、サリチオン、スミチオンSV、EMの各乳剤がすぐれていた(表を参照)。また、残効力はEM、エカチン、サリチオン、ジメトエート、ホリドール、バスタンの各乳剤が明らかに効果が高い(図を参照)。モモアカアブラムシに対してエカチン、EM、ホリドール、サリチオン

の各乳剤は速効・残効力共にすぐれているようである。



速効力比較

供試薬剤	項目	使用濃度		供試虫数 (幼成虫計) (2反復合計)	散布後、経時死虫率 (アポットの補正による)			
		有効成分(%)	稀釈倍数		1時間	2時間30分	4時間	24時間
	%							
スミチオンSV乳剤	50.0	0.025	2,000	113	33.6	74.2	85.6	96.3
サリチオン乳剤	25.0	0.025	1,000	284	16.5	93.3	97.2	100.0
S-4115乳剤	25.0	0.025	1,000	135	9.6	48.6	58.3	96.1
ニッソール乳剤	25.0	0.025	1,000	187	0.0	2.2	2.2	88.2
エカチン乳剤	25.0	0.025	1,000	137	56.2	98.5	99.3	100.0
EM乳剤	40.0	0.025	1,600	150	3.3	39.0	81.8	100.0
エンドリン乳剤	19.5	0.025	780	117	0.0	0.4	0.6	81.1
ジメトエート乳剤	43.0	0.025	1,720	116	0.0	37.2	71.3	100.0
サホゾン水和剤	70.0	0.025	2,800	124	0.0	7.1	12.7	43.9
タカチオン乳剤	50.0	0.025	2,000	180	0.0	5.6	9.6	54.8
バイソット乳剤	50.0	0.025	2,000	132	0.0	1.0	9.6	77.0
ペスタソン乳剤	35.0	0.025	1,400	164	0.0	1.3	7.0	49.0
マラソン乳剤	50.0	0.025	2,000	157	4.5	28.3	57.5	85.4
エルサン乳剤	50.0	0.025	2,000	140	2.1	10.0	24.9	73.9
ホリドール乳剤	40.0	0.025	1,600	136	40.4	93.6	99.3	100.0
control (水道水)				185	0.0	0.0	0.0	0.0